

利賀っ子だより



R5. 2. 13

○ 雪像づくり

10日、この時期の利賀には珍しい雨が降り出しましたが、小・中学生で雪像2体を作りました。あらかじめ、設計図を描き、仕事分担をしていたものの、実際に雪の塊を目の前にすると、どこからどうはじめるとよいのかとまどっている様子も見受けられました。

それでも、中学生や高学年がリードし、予定時間内に仕上げることができました。

途中、建設業協会の方に重機やチェーンソーで大まかに削っていただいたり、「離れて全体を見る人がいるとよいのではないかな」「大きく削ってから、細かく修正するとよいのではないかな」などとアドバイスをいただいたりしました。また、振興協議会の役員の方々が雨の中、何度も進捗状況を見に来てくださったり声をかけてくださったり、副会長さんから、温かい飲み物の差し入れがあったりと地域の方々に支えられていると感じた機会だったと思います。地域の方々と一緒に楽しんだ、助けていただいたという思いが、この後、地域を大切に思ったり、今度は自分ができることをしてみようという気持ちを生んだりするのだと感じました。



【手にもっているウサギがポイントです】



【目が見どころです】

○ 花と緑の少年団活動



【そんなこともあったね】

今年度の花と緑の少年団活動について発表する機会を得ました。そのため、1年間の活動の様子をプレゼンにまとめることになりました。5年生が、全校を代表してその活動を担当しました。

先日の朝の会で、できあがったプレゼンを全校で見る機会を設けました。改めて振り返ってみることで、常に全校一緒に、利賀の豊かな自然と五感を通して関わりながら過ごしてきた1年間だったことがよく分かりました。

これからも利賀で学ぶからこそできることを大切にしたい教育活動を展開していきます。

(高田 公美)